

インタビュー

国内外一体をコンセプトに、クラウド時代に 最適な「Arcstar Universal One」を積極展開

NTTコミュニケーションズが提供するクラウドコンピューティング時代に最適なグローバルシームレスなビジネスバックボーン「Arcstar Universal One」サービス。ネットワークの部材提供から、あらゆるものをユビキタスにつなぐ環境の提供を目指したNTTコミュニケーションズの取組みについて、原隆一取締役と大井貴部門長のお二人にうかがった。



NTTコミュニケーションズ(株)
取締役
ネットワークサービス部長
原 隆一氏

部材提供からユビキタス環境の提供へ、 キャリアのサービスを変える

——クラウドコンピューティング（以下、クラウド）時代に最適なビジネスバックボーン「Arcstar Universal One」の提供から半年、いよいよグローバルシームレスなワンストップのトータルサービスが提供開始されましたが、その背景・狙いとしてどのような点があげられますか。

原 クラウド時代においては、キャリアのネットワークサービスを大きく変える必要があると感じていました。IPv6やクラウド時代のネットワークサービスに要求される機能を完備、すなわち回線の稼働率の向上や

故障時の迅速なリカバリーの実現に加え、インターネット接続やVPN、専用線等々、ネットワークの部材を提供するのではなく、複雑な設計・設定を行わずとも、どこからでも常にクラウドレディな環境を利用できることです。しかもそれを品質と価格で選ぶシンプルなメニューで提供することをコンセプトに具現化したものが「Arcstar Universal One」でした。導入・サポートを容易にし、バックアップを標準装備することで信頼性を大きく向上させ、かつ私どものクラウドサービス「BizCITY」との接続機能も標準で提供しています。オフィスからクラウドまでをシームレスにオペレーションする、クラウド時代に最適なNaaS（Network as a Service）です。まずは、国内向けに提供した「Arcstar Universal One」を、この度、グローバルシームレス（国内外一体的）に拡大します。

大井 国内と同様の使い勝手をグローバルで提供するとともに、申込～請求、故障対応をワンストップ化します。クラウド利用に国境の壁はなく、クラウドレディな環境を、いつでもどこでも安全便利に利用できるネットワークサービスをグローバルシームレスに提供することで本格的



NTTコミュニケーションズ(株)
ネットワークサービス部
クラウドネットワークサービス部門長
大井 貴氏

なクラウド利用環境へ革新できると考えています。

国内外一体の “One Network” サービス 「Arcstar Universal One」

——グローバルシームレスにクラウド利用環境を提供する新たなフラグシップサービスともいえるArcstar Universal Oneの基本コンセプトをお聞かせください。

大井 基本コンセプトである、クラウドレディ、シンプルなサービスメニュー、ワンストップのトータルオペレーションサービスを踏襲しつつ、特に“One Network”ということで、オペレーションのプロセス

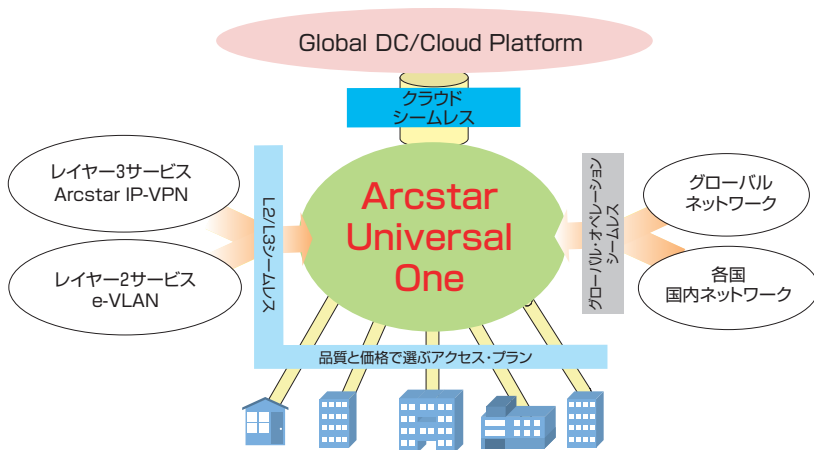


図1 Arcstar Universal One — 我々の答え

を含めて国内外シームレス化によるネットワークサービスの強化を図っています。

— Arcstar Universal One サービスの詳細は後続の頁でご紹介しますが、サービスメニュー等は、これまでと同様ですか。

大井 プランの有無は各国の国情によるところがありますが、品質／価格に応じた「ベストエフォート」「バースト」「ギャランティ」「プレミアム」の4種類のプランで提供するというのは基本的に同じです。また、有線／無線によるアクセス回線のバックアップ機能を標準で提供することも同じですが、無線のバックアップ機能については、アジアの3G普及国から順次提供していくことにしています。

さらに、お客様のお宅に宅内端末装置「Universal Oneターミナル」を設置し、お客様の実環境に応じてエンド・エンドで常時監視するサービスも提供します。Universal Oneターミナルは、レイヤー3 (L3) はもちろん、レイヤー2 (L2) につい

てはイーサネット網の保守・管理機能であるイーサネット OAM 機能を具備しています。

— 提供地域は何ヶ国ですか。

大井 「Arcstar グローバル IP-VPN」サービスを既に提供している 159 ヶ国でサービス展開していきます。このため、国毎に、プランやアクセス回線のバックアップを整備していく必要がでてくるということです。

なお、Arcstar Universal One は、L3、L2 のサービスを同一ネットワーク上でレイヤーシームレスに自由に選択できるという点が特長です。L2 サービスについては、グローバル環境での遅延最適化に対応した VPLS (Virtual Private LAN Service) 技術を用いており、主要国から始めて逐次提供地域を拡大していきます。L3・L2 という技術でなく自社に最適なネットワークを導入したいというお客様の本来の要望に応えることができます。

— グローバルなデータセンターのクラウド基盤も活用できる。

大井 NTT コミュニケーションズ

は、グローバルデータセンターの展開を加速しており、現在 20 ヶ国 31 都市でデータセンタービジネスを積極的に推進しています。このグローバルなデータセンターをシームレスに活用できるという点も大きな特長です。

キャリアサービスの革新で世界中のお客様のビジネスを支援

— 最後に、今後のビジネスの抱負をお聞かせください。

原 グローバルシームレスにユビキタスな環境を提供するという点で、NTT コミュニケーションズの最大の強みは、区間最低遅延・最大級容量の光海底ケーブル「PC1」や「ASE」などを所有し、グローバルに広帯域・高品質のネットワークを提供できること、自前を含め世界各地にデータセンターを保有しているという点です。また、データセンター間を高速ネットワークでつないだクラウド基盤が活用できるという点も大きな強みです。この強みを生かし、キャリアのサービスを革新する Arcstar Universal One をグローバルシームレスに展開し、世界中のお客様のビジネスを支援していきたいと考えています。

大井 Arcstar Universal One を積極的に展開するとともに、このユビキタス環境のうえで、例えば、ユニファイドコミュニケーションサービスなどの新しい付加価値サービスを次々と展開し、お客様に貢献したいと思っています。

— 本日は有難うございました。

(聞き手・構成：編集長 河西義人)